

**『 COVID-19 パンデミックがもたらした自傷的薬物過量服用への影響』
に対するご協力をお願い**

研究の目的と意義	新型コロナウイルス流行によってお薬を過量服用してしまった患者さんがどのような経過を辿ったのかを把握し、どのような患者さんにメンタルヘルスケアを行う必要があるのかを検討します。
研究の方法	この研究は対象になる患者さんの情報を診療録から取得して、その情報を調べる既存の情報を利用する研究です。
対象者	西暦2018年1月1日～2022年12月31日の間に、「中毒」で当院に通院や入院をされた患者さん
利用する試料/情報	情報：性別、年齢、既往歴、患者生活背景、過量服用回数、自殺企図の有無、 薬歴 精神科受診状況、摂取薬物、動機 血液生化学：AST、ALT、BUN、クレアチニン、薬毒物簡易検査結果
利用する試料/情報の取得方法	対象になる患者さんの診療録から個人が分かる情報の削除をした状態の「治療の情報」を取得します。
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	日本医療薬学会で発表予定です。
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2023年8月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 薬剤部/薬剤師/富永麻里子
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 薬剤部/富永麻里子